

2020年11月19日

2021年7月8日 一部更新（変更部分ハイライト）

学生・教職員各位

大学院総合文化研究科・教養学部

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行下における海外渡航ならびに
海外からの入国について(第2報)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行に鑑みて、本研究科は渡航・入国全般についてのガイドラインとして、2020年6月18日付けで「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行下における海外渡航ならびに海外からの入国について」を発出いたしました（以下、「ガイドライン」と略称）。しかしながら、流行の終息が見込まれない状況の下、長期間にわたって渡航制限を行うことは、教育・研究上支障を来すことも懸念されます。本部においても、同様の懸念のもと構成員の渡航可否に関して全学的に審査する体制が整えられましたので、本研究科としてガイドラインに若干の修正を加えました。皆さまには、各自で最新の情報の把握に努め、適切な計画を策定してくださいませようお願いします。

*文中で言及される各種ホームページは、本通知末尾に一括して示してあります。

1 渡航に関して

以下の項目すべてについて各自の責任で最新の情報を確認した上で、下記「3 研究上の渡航と入国に関するガイドライン」もしくは「4 教育・学習上の渡航と入国に関するガイドライン」に従ってください。研究・教育とは無関係な個人の資格による渡航であっても本通知の要請に従ってくださいませようお願いします。

(1-1) 渡航先の危険情報について、外務省海外安全ホームページで最新情報を確認してください。感染症危険情報レベル 2 以上に指定されている国や地域への渡航は慎重に検討してください。レベル 1 以下であっても、日本への再入国後には行動の制限が課される場合がありますので、渡航の必要性をじゅうぶんにご検討ください。

(1-2) 渡航予定先のビザ発給制限、入国制限、検疫体制、活動制限などについては、各国当局のホームページや駐日大使館などにて最新情報を確認してください。

(1-3) 国籍にかかわらず、再入国後には一定の行動制限が課されますので、下記「2 入国に関して」を必ず参照してください。

2 入国に関して

以下の項目すべてについて了解した上で、下記「3 研究上の渡航と入国に関するガイドライン」もしくは「4 教育・学習上の渡航と入国に関するガイドライン」に従ってください。

(2-1) 海外から日本へ入国・再入国する際の検疫措置（水際措置）に関しては、厚生労働省ホームページの「水際対策の抜本的強化について（新型コロナウイルス感染症）」で最新情報を確認してください。これは国籍にかかわらず、すべての入国者・再入国者を対象とする措置ですのでご注意ください。

(2-2) 日本への入国拒否対象となっている国・地域について、法務省出入国在留管理庁ホームページの「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る上陸拒否等について」で最新情報を確認してください。該当する国・地域のパスポート所持者は日本国内で就業・修学していても上陸拒否対象となる場合があります。また、入国拒否対象の国・地域に滞在歴がある場合には、たとえそれ以外の国・地域からの入国・再入国であっても、別途制約が課されることがありますので、厚生労働省ホームページの「水際対策の抜本的強化について（新型コロナウイルス感染症）」で最新情報を確認してください。

(2-3) 海外から日本への入国・再入国について、政府では国際的な人的往来の段階的緩和を進めています。詳しくは外務省ホームページの「国際的な人の往来再開に向けた段階的措置について」で最新情報を確認してください。

(2-4) 上記 (2-1)、(2-2)、(2-3) を前提として、なおも入国・再入国する場合には、PC 新型コロナウイルス検査の実施有無や、出発地・経由地にかかわらず、すべての国・地域から入国した日から起算して 14 日間は体調管理（体温測定、健康管理、外出を控える）に努め、大学には来ないようにしてください。また、14 日間の体調管理中であることを所属専攻・所属部署または所属する各課程の事務に伝えてください。宿舎に居住している場合は、共有スペース（多人数が利用するホール・ラウンジ等）は必要最小限の使用にとどめてください。ただし、上記 (2-1) に示す、厚生労働省による検疫対象となった場合には、その日数も含めて合計 14 日間が経過した後に大学に来てもかまいません。14 日間が経過した後に大学に来る場合は、各キャンパスの入構ルールに従って必要な手続きをしてください。

3 研究上の渡航と入国に関するガイドライン

上記「1 渡航に関して」および「2 入国に関して」を踏まえて、研究目的で渡航・入国する際には以下の諸点に留意して計画を立案してください。

(3-1) 外務省海外安全ホームページが示す感染症危険情報レベルが「レベル 2」以上である国と地域への渡航は慎重に検討してください。ただし、教育・研究上必要な渡航であると判断される場合は、所定の様式に必要事項を記入した上で、「海外渡航にかかる新型コロナウイルス

対策タスクフォースへの審議依頼について」(2020年11月19日付教養学部等事務通知。以下「事務部通知」という。)に従って提出してください。本様式は研究科長室を経て、本部新型コロナウイルス対策タスクフォースの審議に附されます。本部新型コロナウイルスタスクフォースの承認を得て、初めて渡航が認められます。

(3-2) 渡航先の感染症危険情報レベルが「レベル 1」以下である場合にも、再入国に際しては上記(2-4)に示す行動制限をお願いします。したがって、再入国後に業務に支障を来さないよう、所属する専攻・系や部会などにおいて事前に調整をしてください。

(3-3) サバティカル研修や若手研究者の国際展開事業など研究科や大学の承認をすでに得て渡航する場合には、上記(3-1)にしたがって渡航承認を得るための申請を行ってください。渡航を延期する判断をされた場合、所属の専攻・系や部会などでの調整がなされるのであれば、研究科としても柔軟に対応いたします。今後のサバティカル研修や若手研究者の国際展開事業などを計画している方は、現在の情勢にかかわらず、所属の専攻・系や部会などで申請手続きを進めていただいてかまいません。

(3-4) 大学院生を同行させるのは、それが研究上の必要であることが明らかである場合に限りです。教育目的での同行については下記「4 教育・学習上の渡航と入国に関するガイドライン」を参照してください。

4 教育・学習上の渡航と入国に関するガイドライン

上記「1 渡航に関して」および「2 入国に関して」を踏まえて、大学院生であると学部生であるを問わず、教育・学習目的で渡航・入国する際には以下の諸点に留意してください。渡航先の国・地域では厳しい行動制限が課せられる場合もありますし、渡航後の再入国に際しても、自宅待機など授業履修に影響を与えうる制限が課せられます。したがって、短期の渡航プログラムは、諸制限を考慮に入れてもなお顕著な教育的意義があるかどうか熟慮の上で実施可否を検討してください。

(4-1) 短期渡航プログラムに関して。

(4-1-1) オンライン形式による代替措置を積極的に講じてください。特に、教育へのICT活用はCOVID-19の流行有無にかかわらず、Society5.0を見据えた新たな国際教育の可能性を拡張する途でもあります。

(4-1-2) オンライン形式による代替措置が不可能な渡航計画に関しては、上記「3 研究上の渡航と入国に関するガイドライン」に準じて計画を立案してください。ただし、情勢急変のリスクがあることや渡航先や日本再入国時において諸制限が課せられることを参加者やその保護者(未成年学生の場合)に対して不足なく説明するとともに、誓約書などによって参加者やその保護者がそれらに関して了解していることを必ず確認してください。

(4-1-3) 本研究科・学部において対面授業が一切認められていない「ステージ・レッド I」以

上の入構制限が実施されている場合は、短期渡航プログラムも実施しないでください。

(4-1-4) 実施に際しては、通常の渡航において課せられる安全上の各種措置は従来通りの規定に従って準備してください。

(4-2) 本研究科・学部に留学などで在籍する予定の学生について。

PEAK 生を初めとして、正規学生、特別聴講学生、研究受託指導学生など、海外から入国して本研究科・学部で学ぶさまざまな学生の中には、予定の期日を過ぎてもなお入国できない人が相当数いることが想定されますが、この問題は居所が国内外のいずれであるかにかかわらず生じるので、本研究科・学部において別途、対策を講じます。

(4-3) 学生が個人で企画する海外渡航について。

(4-3-1) 学生が公的であると私的であるとを問わず、個人で企画して行う海外渡航に関しては、上記「3 研究上の渡航と入国に関するガイドライン」に準じます。

(4-3-2) 学生が帰省などのために出国する際には、再入国に際して上陸拒否や入国制限の対象となる場合がありますので、上記「2 入国に関して」に従って慎重に検討してください。なお、一時帰国する場合であっても事前申請が必要です。所定の様式を事務部通知に従って提出してください。申請は研究科長室を経て、必要に応じて、本部新型コロナウイルス対策タスクフォースでの審議に附されます。再入国の際には、本研究科・学部が要請する行動制限が同様に要請されます。

(4-4) 長期留学に関して。

長期留学に関しては派遣プログラム運営者の指示に従ってください。休学して海外で長期滞在する等の場合の渡航についてはこの通知の限りではありませんが、学籍異動の願出と併せて所定の様式を事務部通知に従って提出する必要があります。申請は研究科長室を経て、本部新型コロナウイルス対策タスクフォースでの審議に附されます。再入国の際には、本研究科・学部が要請する行動制限が同様に要請されます。

5 職員の渡航と入国に関しては、「3 研究上の渡航と入国に関するガイドライン」に準じます。

【ガイドラインが言及する各種ホームページ】

・外務省海外安全ホームページ：<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

・外務省ホームページ「国際的な人の往来再開に向けた段階的措置について」：
https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/cp/page22_003380.html

・厚生労働省ホームページ「水際対策の抜本的強化について（新型コロナウイルス感染症）」：
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00098.html

・法務省出入国在留管理庁ホームページ「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る上陸拒否等について」：

http://www.moj.go.jp/isa/hisho06_00099.html

【その他、関連情報に関する各種ホームページ】

・外務省ホームページ「感染症危険情報の変更に伴う水際措置等手続の変更について」（2020年11月1日以降の新たな変更点が包括的にまとめられています）：

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2020C078.html

・外務省渡航登録サービス：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

・WHO ホームページ（Coronavirus disease (COVID-19) advice for the public）：
<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/advice-for-public>

・国立感染症研究所ホームページ（コロナウイルスに関する解説及び中国湖北省武漢市等で報告されている新型コロナウイルスに関連する情報）：

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

【カウンセリング窓口の紹介】

不安を感じている方には以下の相談窓口がありますので参考にしてください。

・留学生相談室・カウンセリング

（日本語：<https://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/inbound/support/advising.html>）

（英語：<https://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/en/inbound/support/advising.html>）

・駒場学生相談所：<http://kscc.c.u-tokyo.ac.jp/>

・駒場保健センター精神科：<http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/mhs/offices/>

November 19, 2020

Updated July 8, 2021 (changes shown with yellow highlighting)

To: Students, Faculty, and Staff

Graduate School of Arts and Sciences
College of Arts and Sciences

Notification Regarding Overseas Travel and Entry to Japan
During the Novel Coronavirus (COVID-19) Pandemic
(2nd Notification)

Due the global spread of novel coronavirus (COVID-19) infections, we issued a “Notification Regarding Overseas Travel and Entry to Japan” on June 18, 2020. Although the pandemic is not expected to end any time soon, we are concerned that long-term restrictions on overseas travel could be harmful to our educational and research missions. The university’s central administration shares these concerns and has created a university-wide system to evaluate whether or not people affiliated with the university should be able to travel internationally. Therefore the guidelines that we issued on June 18 have been updated as follows. We urge everyone to continue to keep up with the latest information and to make plans accordingly.

Links to the websites mentioned below appear at the end of this document.

1. Travel from Japan to Other Countries

If you are thinking of traveling to or from Japan, confirm all of the following items and follow the guidelines given under either “3. Guidelines for Overseas Travel and Entry to Japan for Research Purposes” or “4. Guidelines for Overseas Travel and Entry to Japan for Educational or Study Purposes.” Also follow the guidelines herein regarding personal travel for other purposes.

- (1-1) Check the latest information regarding the risk levels of your intended destination on the Ministry of Foreign Affairs’ overseas safety site (in Japanese). Please consider very carefully whether you should travel to any country or region with a risk level of 2 or above. Even if the level of your destination is 1 or lower, you may be subject to restrictions on your activities when you re-enter Japan, so consider carefully whether your trip is really necessary.

- (1-2) If you are thinking of traveling outside Japan, check the government and embassy websites for your intended destinations to confirm the latest information about visa issuance restrictions, entry restrictions, quarantine procedures, and restrictions on activities.
- (1-3) Regardless of your citizenship, you will be subject to restrictions on your activities upon entering Japan. Please read “2. Entering Japan” below carefully.

2. Entering Japan

If you are thinking of entering Japan, confirm all of the following items and follow the guidelines given below under either “3. Guidelines for Overseas Travel and Entry to Japan for Research Purposes” or “4. Guidelines for Overseas Travel and Entry to Japan for Educational or Study Purposes.”

- (2-1) If you are entering Japan from overseas, check the Ministry of Health, Labour, and Welfare’s site (in Japanese) about enhanced border restrictions for the latest information. Note that these restrictions apply to all people entering Japan regardless of citizenship.
- (2-2) Check the website of the Ministry of Justice’s Immigration Services Agency (in Japanese, with machine translation into English and other languages) about entry prohibitions related to the novel coronavirus for the latest information about countries and regions from which entry to Japan is prohibited. Passport holders from those countries and regions may be denied entry to Japan even if they hold work or study visas. Even if you are entering Japan from elsewhere, if you had been in one of those countries or regions recently you may be subject to restrictions; be sure to check the latest information on the Ministry of Health, Labour, and Welfare’s site about enhanced border restrictions.
- (2-3) The Japanese government has been gradually relaxing the restrictions on entry to Japan. Check the latest information on the Ministry of Foreign Affairs’ site “Phased Measures for Resuming Cross-Border Travel.”
- (2-4) If, after confirming the information in (2-1), (2-2), and (2-3), you still intend to enter Japan, note that you will be required to manage your health (check your temperature, maintain healthful habits, avoid going outside, etc.) and not come to the university for 14 days from the date of your entry to Japan, regardless of whether or not you have had a PCR test and regardless of your point of origin and transit points. In that case, notify your department that you are in a 14-day health-management period. If you live in shared housing, minimize your use of lounges and other spaces that might be used by many people. If you were kept in

quarantine in accordance with the MHLW's restrictions, then you may come to the university after the 14-day period, including the quarantine period, has ended. When coming to the university after the end of the 14-day period, follow the entry procedures required by the particular campus.

3. Guidelines for Overseas Travel and Entry to Japan for Research Purposes

If you are thinking of traveling overseas or entering Japan for research purposes, plan your trip in accordance with “1. Travel from Japan to Other Countries” and “2. Entering Japan” above and the following guidelines.

- (3-1) Please consider very carefully whether you should travel to any country or region indicated as having an infection risk level of 2 or above on the Ministry of Foreign Affairs' overseas safety site (in Japanese). If you believe that such travel is necessary for educational or research purposes, however, then fill out the required paperwork and submit a request for permission for overseas travel to the Novel Coronavirus Taskforce as stated in the announcement issued on November 19, 2020. Your request will be screened by the Dean's Office and reviewed by the university-wide Taskforce. You will be permitted to travel overseas only after receiving the Taskforce's permission.
- (3-2) Even if the infection risk level of your destination is 1 or lower, restrict your activities after re-entering Japan as explained in “2. Entering Japan” above. Make arrangements with your department in advance to ensure that your work is handled appropriately after you re-enter Japan.
- (3-3) If your overseas trip has been approved by the Graduate School or the university as part of a sabbatical, an international project for young researchers, etc., you may apply for permission to travel overseas as explained in (3-1) above. If you decide to postpone your trip and your department is able to make the necessary arrangements, the Graduate School will make adjustments accordingly. If you are planning a future sabbatical, international project for young researchers, etc., you may begin the departmental application procedures regardless of the current situation.
- (3-4) Graduate students may accompany faculty on overseas trips only when clearly necessary for research purposes. For educational purposes, see “4. Guidelines for Overseas Travel and Entry to Japan for Educational or Study Purposes” below.

4. Guidelines for Overseas Travel and Entry to Japan for Educational or Study Purposes

If you are thinking of traveling overseas or entering Japan for educational or study purposes, plan your trip in accordance with “1. Travel from Japan to Other Countries” and “2. Entering Japan” above and the following guidelines. These guidelines apply to both undergraduate and graduate students. Some countries and regions have imposed strict restrictions on activities there; furthermore, after re-entering Japan, you will be subject to restrictions, such as staying home, that might affect your class participation. With regard to short-term study programs in particular, consider carefully whether participating in such a program would really be of significant educational value despite the restrictions.

(4-1) Short-term Study Abroad Programs

(4-1-1) Make every effort to substitute online learning for your study abroad program. The application of information technology to education has great potential, not only for online classes now during the COVID-19 pandemic but also for international education in the emerging Society 5.0 era.

(4-1-2) If you are planning a study abroad program that cannot be replaced with online learning, then plan your trip in accordance with “3. Guidelines for Overseas Travel and Entry to Japan for Research Purposes” above. Faculty must inform all participants and (in the case of minors) their guardians clearly and completely about the risks of sudden changes in conditions and the likelihood of restrictions on activities; they must also receive confirmation, such as through a signed statement, that those risks are understood.

(4-1-3) Do not conduct or participate in any short-term study abroad programs when the Komaba Campus is in **Stage Red I** or higher, when no face-to-face classes are permitted.

(4-1-4) If you do travel internationally for educational or study purposes, follow all of the regular safety rules and procedures specified by the university as well.

(4-2) Students Overseas Who Expect to Be Enrolled in the College or Graduate School

We anticipate that many students now overseas will be unable to enter Japan by their expected date of arrival, including PEAK/GPEAK students, regular students, special auditors, students doing supervised research, etc. Some students in Japan will similarly be unable to move to the Tokyo area. The College and Graduate School will continue to make suitable arrangements for such students.

(4-3) Private Travel Overseas by Students

(4-3-1) All students planning international travel, whether for personal or university purposes, must follow “3. Guidelines for Overseas Travel and Entry to Japan for Research Purposes” above.

(4-3-2) Students considering leaving Japan for personal reasons, such as to visit their homes, may be subject to denied or restricted re-entry to Japan, so consider your plans carefully based on “2. Entering Japan” above. You must apply for permission in advance even for short-term trips to your home country. Submit the required documentation as stated in the November 19, 2020, announcement. Your request will be screened by the Dean’s Office and, when necessary, reviewed by the university-wide Taskforce. The same restrictions on activities imposed by the College and Graduate School will apply to you upon your return to Japan.

(4-4) Long-Term Study Abroad

If you are planning to enroll in a long-term study abroad program, follow the instructions of the program’s operators. While this notification does not apply to students who take a leave of absence (for example, in order to enroll in a long-term study abroad program), you still need to submit the required paperwork in accordance with the November 19, 2020, announcement and your application must be approved by the university-wide Taskforce. The same restrictions on activities imposed by the College and Graduate School will apply to you upon your return to Japan.

5. Staff Members

Staff members traveling overseas or returning to Japan should follow “3. Guidelines for Overseas Travel and Entry to Japan for Research Purposes.”

Websites mentioned above

MOFA’s overseas safety site (in Japanese)

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

MOFA's "Phased Measures for Resuming Cross-Border Travel" (in English and Japanese)

https://www.mofa.go.jp/ca/cp/page22e_000925.html

MHLW's site about enhanced border restrictions (in Japanese)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00098.html

Immigration Service Agency of Japan's site about entry restrictions related to the novel coronavirus (in Japanese, with machine translations into other languages)

http://www.moj.go.jp/isa/hisho06_00099.html

Related websites

MOFA's updated border restrictions (in Japanese)

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2020C078.html

MOFA's overseas travel registration service (in Japanese; for Japanese citizens)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

WHO's coronavirus disease (COVID-19) advice for the public (in English)

<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/advice-for-public>

National Institute of Infectious Diseases information on novel coronavirus (mostly in Japanese, some in English)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

Counseling services

The following counseling services are available for people experiencing anxiety or other problems:

International Student Advisory Room

<https://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/inbound/support/advising.html> (in Japanese)

<https://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/en/inbound/support/advising.html> (in English)

Komaba Student Counseling Center

<http://kscc.c.u-tokyo.ac.jp/> (in Japanese)

Office for Mental Health Support

<http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/mhs/en/> (in English)